



= ごあいさつ =

北部市民サービスセンター
所長 碓谷 阿津子

今年4月に赴任しました、碓谷でございます。

日頃より、地域の皆様には当センターをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

また、当センターは開館から10年目を迎えましたが、これまで管理運営をお願いしてきております北部地域住民自治協議会の皆様のご尽力に改めて感謝申し上げますとともに、心より敬意を表します。

さて、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために一時期貸館を休止するなど、地域の皆様にご不便をおかけいたしました。マスクの着用等、新しい生活様式を取り入れ、それぞれ工夫しながら活発に活動されていることを大変喜ばしく思っております。

私も地域の発展、賑わいづくりのお役に立てるよう努めてまいりますので、引き続きご協力ください。よろしくお願いいたします。

令和元年度 施設利用状況 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

《内訳》

利用者総数：131,497名

地域文化ホール：20,116名

部屋利用：43,900名

展示ホール利用：34,215名

体育館利用：33,266名



一日平均368名の
皆様にご利用
いただきました

Thank you

△お知らせ△

地域文化ホールおよび体育館の天井改修工事について

令和2年10月19日から令和3年3月31日の期間において地域文化ホールおよび体育館の天井耐震改修工事のため、当該施設の使用はできません。ご協力をお願いいたします。



令和2年度 北部地域住民自治協議会 自主事業紹介

キタスカトークショー

期 日：令和2年10月3日（土）

時 間：13：30～15：30

「石垣政和と、心が晴れ晴れとした Showmanship な仲間達」

コロナ禍の中、開催されたキタスカトークショーでは、感染予防対策として座席を指定席にして半分に減らし、ご来場の皆様には体温測定や手指の消毒、マスク着用の御協力をいただきました。

ステージが始まると、総勢10人の出演者はそれぞれ個性豊かなパフォーマンスを披露してくださいました。



岩澤将志

メイン司会を努めた石垣政和さんのトークは出演者とのやりとりがおもしろく、ショーがとても盛り上がりました。

和太鼓奏者である岩澤将志さんの和太鼓はとてもカッコよく、お腹に響く迫力のあるものでした。また、ショーの途中には笛や太鼓を抱えての演奏もありました。



石垣政和

軽快な音楽にのって登場してきたのがキャミソウルブラザーズ！言葉はありませんが顔の表情と愉快的な踊りで会場の皆さんを笑わせていました。近くに寄ってみると腕や背中には黒マジックで「とん太(みそ)」、「ロッセリア」、「マルダイ」等と書いてあり地元の皆さんのツボを突いていました。



キャミソウルブラザーズ



石川文子

F M秋田元アナウンサーの石川文子さんは、山本リンダや荻野目洋子、マライヤキャリーなどの「なりきりスター」として歌はもちろんトークでも笑いをとっていました。バックダンサーの椎名裕真さんと北川楓香さんは石川さんの歌にあわせキレイのダンスを披露しました。また椎名裕真さんは、キレイのダンスとかけ離れたしっとり優しい歌声で演歌等も歌い観客を驚かせていました。



椎名裕真&北川楓香

ウクレレ奏者の鈴木昭寿さんとハワイアンシンガーの三浦智子さんの音楽に合わせてayukoさんがフラダンスを踊り、舞台はハワイアンムード一色に染まりました。鈴木昭寿さんのソロのウクレレ演奏は緩やかなハワイアンとはうって変わり迫力のある音色を奏で観客を魅了しました。

それぞれの素晴らしいパフォーマンスに圧倒され、とても楽しい公演会となりました。



鈴木昭寿&三浦智子&ayuko



サークル紹介

◆ 剣道愛好会 ◆

代表 布施 修

当会は、秋田市北部の土崎地区を拠点とし剣道を通じて幼少年の心身を育成することを目的に活動しています。

子供に武道を習わせたい。運動音痴かも？こんな悩みのある親御様、見学随時OKお気軽にお越しください。

子供と一緒に剣道を再開した方も多数おり、子供たちと一緒に頑張っています。

大勢で稽古しましょう。

お待ちしております。



例会日
第1・3月曜日
18:00~20:30

◆ 木の芽吟社 ◆

事務局 伊藤 正無

主たる活動は月例会です。この会では、会員の投句を基に、出席者全員が互選し、佳句・優秀句を報告します。その後、全員で選評を始めます。「なるほど、ほんとだ、おもしろい」などと、1句1句に首肯しながら味合いを深めます。

最優秀句を獲得した作者には、「天賞」として色紙が贈呈されます。その色紙は、出席者が1句ずつ寄せ書きしたものです。

他の活動の1つに、県内外の俳句大会へ積極的に参加し研鑽することもあります。



例会日
第4日曜日
12:30~16:00

北部市民サービスセンターの貸室のご利用は、新型コロナウイルス感染症予防対策により、次のようにご協力をお願いします。

- *発熱等の症状がある方や体調が優れない方は、利用をご遠慮ください。
- *消毒液による衛生管理や石けん等での手洗いを徹底してください。
- *利用者はマスクを着用するとともに、対人距離を最低1m確保してください。
- *窓がある貸室では、定期的に（30分に1回以上数分間）窓を開放し換気するほか室内の換気設備を常時稼働させてください。窓がない貸室では、常にドアを開けたままとし、ドアを開けたままにすることが困難な場合には、30分に1回以上数分間ドアを開放してください。



～北部地域～ ぐるっとまち歩き 第1回 土崎



北部地域住民自治協議会
副会長 渡邊 清明

土崎といえば『土崎曳山まつり』が毎年7月20日・21日に行われますが、明治33年に高さ20メートルにも及ぶ曳山を新城町の親方衆の貴重な財産を出資して奉納したと記録があり、私も写真を拝見したときに驚きと興奮を感じたことを思い出します。この曳山行事も今年は新型コロナウイルス感染拡大のため中止。普段賑わう街も閑散とした街になってしまいました。

新型コロナウイルスの影響から様々な行事が中止や延期に追い込まれる中、今だからこそ、神社仏閣を巡ってみてはいかがでしょうか。「苦しい時の神頼み」という言葉があるように、苦しい時、悲しい時、辛い時だからこそ、神社や寺院に行けば心が癒やされるはずです。土崎の街にはたくさんさんの小路が存在しますが、その中でも私が住職を務める善導寺の正面通りを「山道通り」といい、その通りだけで5カ所の寺院が並んでおります。各寺院に歴史があり、寺院によっては秘仏や特別な掛け軸等があり、貴重な経験も得られることでしょう。善導寺にも貴重な仏像や掛け軸があります。

その中でも今回紹介させていただきますのは、『祐存地蔵尊』というお地蔵様です。お地蔵様といっても、『祐存』とは実際にいた僧侶のことで、祐存和尚が亡くなられた後、その当時の檀信徒様方が祐存和尚の等身大の地蔵尊を寄進したといわれています。

祐存和尚とは、嘉永元年（1848）に能代で生まれ若くして出家（仏門に入ること）、全国を歩き、念仏を弘めた僧侶であります。しかしその生涯は短く、当時流行病の結核を患い明治10年8月31日（旧暦7月23日）30歳という若さで極楽浄土へ往生されました。生前に多くの方々の悩みに寄り添い、救ってきたという記録があり、徳のあった僧侶であることがわかります。また、往生される数日前から奇妙に輝く光明や火葬中の煙が紫色、又は五彩に輝いたという、仏の来迎（仏様がお迎えに来てくださる）を思わせるような伝説もあります。



祐存地蔵尊

善導寺では祐存和尚の功績を讃え、今もなお檀信徒と共に毎月23日に集まり供養を行っております。また、自身が結核で亡くなられておりますので、そのような病気疫病を治してくれるようにと皆さまと共に願っております。

これはほんの一例でございます。善導寺だけでなく、土崎にある多くの寺院を巡って歴史にふれてみてはいかがでしょうか。人が歩く姿や笑顔があふれ、子どもたちが安心して暮らせる、賑わいのある街がまた戻ってくることを切に願っております。